

平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	フォローアップ等の実施		担当部局庁	高等教育局		作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度		担当課室	学生・留学生課留学生交流室		学生・留学生課長 松尾 泰樹				
会計区分	一般会計		施策名	XⅢ-1国際交流の推進						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「留学生30万人計画」骨子 「新成長戦略」						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地域における交流状況や在籍管理、就職など留学生を取り巻く諸問題解決のため協議を行い、情報の共有や地域を越えたネットワークを構築する。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	有識者、企業、学校、留学生支援団体(NPO,ボランティア団体)、留学生(現役及びOB)等の関係者による全国規模の留学生交流総合推進会議(シンポジウム)を開催し、協議や情報交換を行う。 また、全国46道府県において開催される地域留学生交流推進会議総会に出席し各地域が抱える課題等に関し意見交換を行う。									
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況 当初予算 補正予算 繰越し等 計		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求			
			-	23	21	18	16			
			-	0	0	0				
			-	0	0	0				
			-	23	21	18	16			
	執行額		-	15	14					
	執行率(%)		-	65.2%	66.7%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位 20年度 21年度 22年度 目標値 (32年度)						
	留学生交流が推進される (我が国が受け入れている留学生数)				成果実績	人数	123,829	132,720	141,774	300,000
					達成度	%	約41%	約44%	約47%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位 20年度 21年度 22年度 23年度活動見込						
	留学生交流総合推進会議参加者数				活動実績 (当初見込み)	人	-	400	500 (500)	(600)
					地域留学生交流推進協議会(出席箇所)			活動実績 (当初見込み)	箇所	18
単位当たりコスト	10(千円/総合推進会議参加者数)			算出根拠				単位当たりコスト =総合推進会議実施経費(5.6百万円)/総合推進会議参加者(500人)		
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由						
	謝金	0.4百万円	0.4百万円	※報告書作成部数等の見直しによる減						
	旅費	1.0百万円	1.0百万円							
	庁費	16.5百万円	14.8百万円							
計	18百万円	16百万円								

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・計画していた会議等が中止したこと等により、決算不用が生じている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	・全国規模による留学生交流総合推進会議及び、全国46道府県で産官学が連携した地域留学生交流推進協議会が開催されており、留学生交流に関する課題共有やネットワーク形成が進められている。 ・しかしながら、地域留学生交流推進協議会については、文部科学省からの出席が17カ所にとどまり、より多くの地域の協議会に出席し課題共有とともに活発な意見交換を行っていくことが課題である。 ・経費の執行に関しては、執行一覧を作成し、謝金、旅費、庁費の使途に応じて支出先・使途を適切に把握している。 ・各年度の執行実績等を踏まえ、平成23年度予算においては、所要額の算定を適切に見直し、予算を縮減した。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		1. 事業評価の観点：この事業は、地域における交流状況や在籍管理、就職など留学生を取り巻く諸問題解決のため協議を行い、情報の共有や地域を越えたネットワークを構築する事業であり、予算執行の状況の観点から検証を行う。 2. 所見：この事業は、所掌する行政事務（有識者・企業・学校・留学生支援団体・留学生等の関係者による全国レベルの会議の開催経費など）を推進するために必要な経費であるが、平成22年度において予算に不用が生じているものの、平成23年度において予算の縮減を図るなど一定の見直しを図っている。平成24年度概算要求においても、引き続き事業の効果的・効率的な実施を目指し、コスト縮減等に努めるべきである。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
これまでの執行実績を踏まえ、報告書作成部数等の見直しにより縮減を図り、引き続き事業の効果的・効率的な実施を行うこととし、概算要求に▲2百万円反映した。			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
【参考ホームページ】 http://www.mext.go.jp/b_menu/gyouji/detail/1289017.htm			

文部科学省
14百万円

謝金 0.5百万円
旅費 1.0百万円
委員等旅費 0.7百万円
庁費 11.8百万円

有識者、企業、学校、留学生支援団体(NPO、ボランティア団体)、留学生(現役及びOB)等の関係者による全国規模の留学生交流総合推進会議(シンポジウム)を開催し、協議や情報交換を行う。
また、全国46道府県において開催される地域留学生交流推進会議総会に出席し各地域が抱える課題等に関し意見交換を行う。

【随意契約・調達】

A.(株)第一文眞堂
2百万円

〔日本留学バッジの制作〕

【一般競争入札・請負】

B.(株)インターグループ
1百万円

〔留学生交流総合推進会議の運営等業務〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目
 と使途の双方で
 実情が分かる
 ように記載)

A.(株)第一文眞堂			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
制作費	日本留学バッジ作成	2			
計		2	計		
B.(株)インターグループ			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
運営業務	平成22年度留学生交流総合推進会議の運営等業務一式	1			
計		1	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)第一文真堂	日本留学バッジ作成	2	随意契約	-

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)インターグループ	平成22年度留学生交流総合推進会議の運営等業務一式	1	5	60.0%